



# 調査レポート

## 本公社アンケートによる県内経済動向

【調査の概要】  
 平成24年1月31日時点調査(郵送法)  
 調査対象 県内1,000社  
 回答企業 407社(回答率 40.7%)

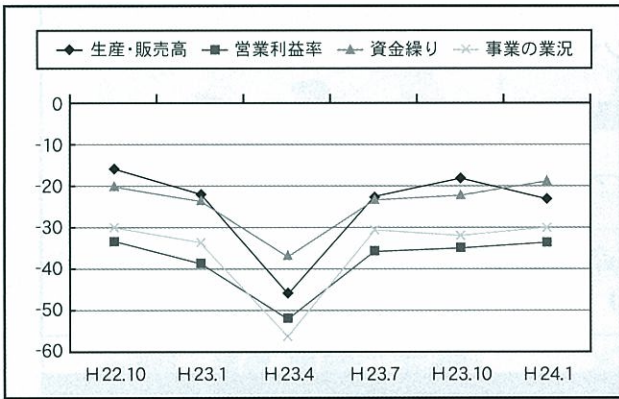
# ～現況厳しいが見通しに期待感～

### 【全産業D I 値】(表1・表2)

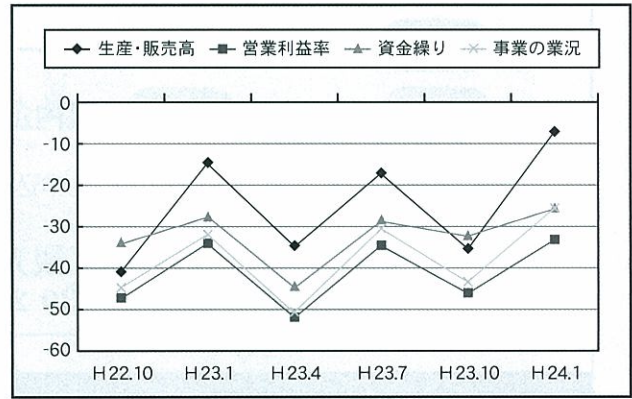
山形県全体のD I 値(※)の前年同月比推移をみると、前回調査(H23.10)では改善傾向にあった生産・販売高が下方傾向を示した一方、営業利益率や資金繰り・事業の業況ではゆるやかな上方傾向となった。生産・販売高(H23.10調査▲19.0→今回調査▲23.1)、営業利益率(▲35.8→▲33.1)、資金繰り(▲21.6→▲19.1)、事業業況(▲33.0→▲30.2)

3ヶ月先見通しD I 値(表2)では全ての調査項目において上方傾向にあり、前回調査で下方傾向からの回復を示している。各項目とも8ポイント以上の回復傾向を示し、特に生産販売高は28ポイントと大幅なポイント上昇を示し、今後の景気回復への期待が大きい。(H23.10調査生産・販売高▲35.7→今回調査▲7.0)、(営業利益率▲46.1→▲33.1)、(資金繰り▲32.5→▲24.6)、(事業の業況▲43.3→▲24.7)

【表1 - 県計前年同月比DI値の推移】



【表2 - 3ヶ月先見通しDI値の推移】



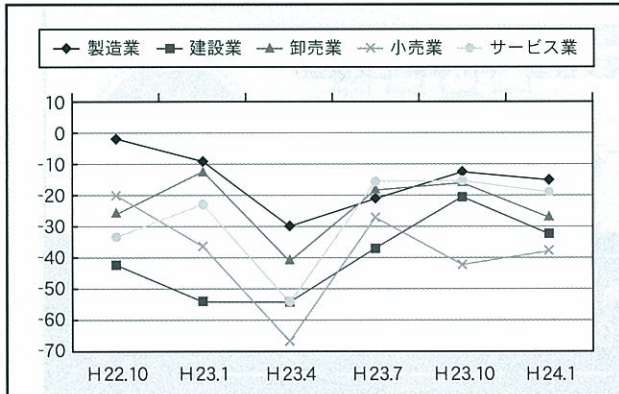
### 【産業別D I 値】(表3・表4)

生産・販売高の前年同月比D I 値を業種別の推移でみると、小売業以外の業種で下方傾向の結果となり、特に建設業や卸売業でのポイント下落幅が大きい。(製造業:H23.10調査▲12.7→今回調査▲16.4、卸売業:▲16.3→▲27.1、建設業▲20.5→▲31.9)、小売業▲42.0→▲38.8、サービス業▲14.8→▲19.7)

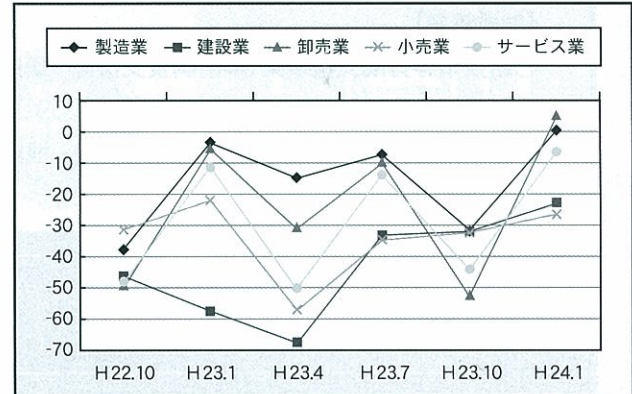
3ヶ月見通しD I 値については、全業種で上方傾向を示しており、県全体の見通しD I 値(表2)の傾向と一致している。特に製造業と卸売業ではプラス基調となり、製造業はH22.4調査以来のD I 値となった。(製造業▲31.7→0.5、小売業▲32.3→▲25.8、卸売業▲52.6→5.5、サービス業▲44.7→▲7.3、建設業▲32.6→▲22.9)

前回10月調査時点よりも相対的に持ち直し基調にあるが、相変わらずの超円高水準や海外経済の動向、消費マインドの冷え込み状況など、懸念材料が多いことから先行きに対する慎重な見方が必要と思われる。

【表3 - 業種別生産・販売高前年比DI値の推移】



【表4 - 業種別生産・販売高3ヶ月先見通しDI値の推移】



(※1) D I 値:「増加」とした企業の割合から「減少」とした割合を差し引いた指数)